

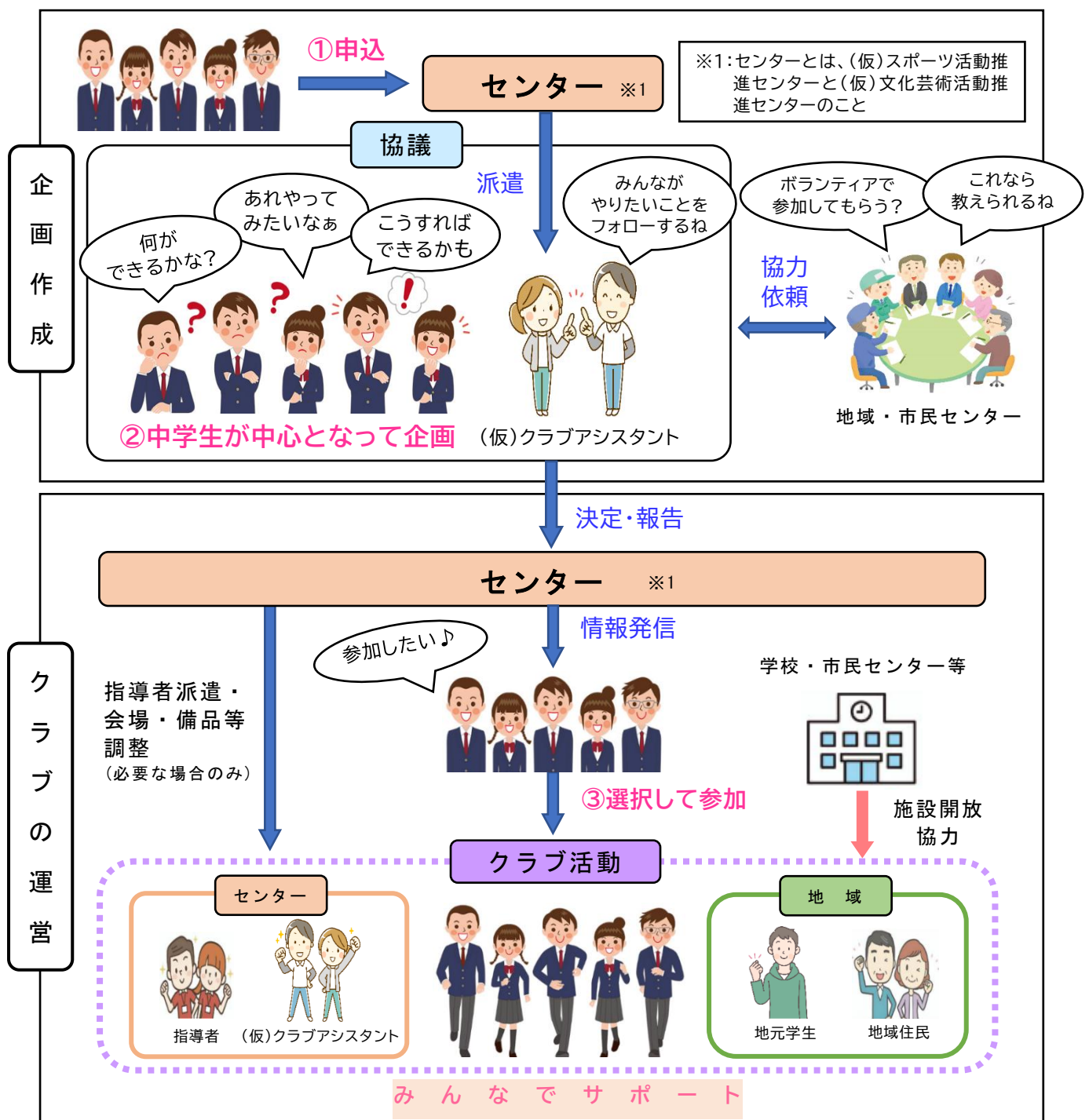
1 コンセプト

- ・ テーマは、「つどう」「つくる」「つながる」
- ・ 中学生が主体となって、「自分たちのやってみたい」を实践
- ・ 地域全体で中学生の「やってみたい」を支援

2 概要

13の中学校区に、それぞれ1つずつクラブを設置する。放課後の時間帯等に、中学生が学校等に「つどい」、自分たちで話し合って計画を「つくり」、地域の中で多世代とも「つながって」活動する。

3 イメージ図



【概要】

本プログラムでは、周南市が目指す「部活動の地域移行における方針」および「しゅうなん・コミュニティ・クラブの構想」に基づき、文化・健康・スポーツ・教育・福祉等の分野を専門的に学ぶ大学生が中学生の活動を支援する。その活動を通して、下記3点を達成する一助となることを目指す。

- ①周南市すべての中学校において、中学生自身が企画・運営する「中学生の、中学生による、中学生のための活動の場」をつくる。
- ②上記に必要なかつ適切なサポートを検討し、中学生の多様なニーズに応える環境、地域、コミュニティをつくる。
- ③支援者の well-being につながるコミュニティ・クラブの運営体制をつくる。

【実施内容】

上記概要に記した目標の達成に向けて、本年度は以下の3点に取り組みたい。

1) コミクラ活動の支援：

専門ゼミⅡにおいて、コミクラに関する教育研究活動を行っている4年生4名を中心に、平休日における中学生のコミクラ活動（自主活動）の支援を行う。

2) コミクラ活動の記録：

マッチングからコミクラ活動の実施に至るまでのプロセスを詳細に記録する。特に下記の項目について、有用な資料となることを目指す。

＜検証・検討項目＞

- ①中学生のやってみたい！の具体的な内容（令和8年に向けた準備）
- ②適切な「拡散」と「集約」方法（多様な希望、想い、考え、アイデア⇒活動決定までの過程）
- ③適切な「介入」と「サポート」（コミクラ活動のサポートに必要な資質および指針）
- ④マッチングから活動開始までに要する時間（コミクラの年間活動計画イメージ）
- ⑤本支援活動が支援者に及ぼす影響

3) 情報共有会の実施：

本プロジェクトの情報共有および評価・検証の機会をつくる。